

# 大学の世界展開力強化事業 取組概要 京都大学

## 【構想の名称】(選定年度24年度(申請区分(I)))

「人間の安全保障」開発を目指した日アセアン双方向人材育成プログラムの構築

## 【プログラムの目的・養成する人材像】

アジア地域での地球温暖化や大規模災害等の地球規模の課題に対して、実効性のある対策の研究や開発が可能な人材を育成することで、今後、地球規模で生じてくると予測される諸問題の解決に資する。

## 【構想の概要】

従来の学術領域を有機的に接合し、アジアで生じると予測される地球規模の諸問題の解決に関する教育を行う。ASEAN 大学連合(AUN)と連携してコンソーシアムを形成し、ダブルディグリープログラム、シングルディグリープログラム、サマースクールからなる多層的な交流プログラムを実施する。

## ■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

第1回KU-AUN運営協議会をバンコクにて開催(2013年11月)



### ① 単位互換可能な講義群の開発

「人間の安全保障」共通基礎科目と、環境・エネルギー、食糧・水、パブリックヘルスなど多様な専門科目で構成される単位互換可能な修士課程向け講義群の開発を行う。

### ② ダブルディグリープログラムの実施

AUN加盟コア大学の5校およびカセサート大学(AUN非加盟)との間で、修士課程のダブルディグリープログラム(以下DDP)を実施し、相互交流を図る。

### ③ 共同指導型シングルディグリープログラムの実施

AUN加盟大学のうちダブルディグリーを実施しない25大学の修士学生を対象に、共同指導型シングルディグリープログラム(以下SDP)を実施し、学生を受け入れる。

### ④ サマースクールの実施

修士課程でのDDPやSDPへの参加を促進することを目的として、学部生向けのサマースクール(以下SS)を開催し、相互交流を図る。

## ■ 交流プログラムの内容、今後の開始に向けた準備状況

インドネシアでのサマースクール(2013年8月)



### ① 交流プログラムについて

AUN加盟大学およびカセサート大学(以下AUN加盟大学等)との間で、修士課程のDDP、SDP、および学部学生向けのSSを展開する。

### ② プログラムの開始に向けた準備状況

AUNとの間では、既に包括的な交流協定を締結しており、構想の実施に向けた協力体制を整えている。平成25年度は、農学分野でインドネシア・ガジャマダ大学と、エネルギー分野でインドネシア・バンドン工科大学およびマレーシア・マラヤ大学とダブルディグリープログラムを開始した。また、公衆衛生分野のダブルディグリー実施に向けて、マラヤ大学およびタイ・チュラロンコン大学と協定を締結し、平成26年度から実施する。また、農学分野、エネルギー分野において平成26年度からの実施をめざしシンガポール国立大学との間で協議を進めている。さらに、シングルディグリープログラム参加学生の募集と選抜を実施し、これも平成26年度から実施する。

## ■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

### ① 日本人学生の派遣

AUN加盟大学等にDDP、SSで学生を派遣する。平成26年度は、DDPではマラヤ大学、ガジャマダ大学等、SSでは8月にラオス国立大学とベトナム国家大学ホーチミン市に学生を派遣する。

### ② 外国人留学生の受入れ

AUN加盟大学からDDP、SDP、SSで学生を受け入れる。平成26年度は、DDPではガジャマダ大学等、SDPではタイ・チェンマイ大学等、SSでは5月にカセサート大学の学生を受け入れる。

	H24	H25	H26	H27	H28
学生の派遣	30	18	46	54	59
学生の受入	0	49	56	64	64

注)H24・H25は実績、H26以降は計画

## ■ 日本人学生の派遣・留学生の受入を促進するための環境整備

### ① 学生の海外留学を促進するための環境整備

派遣先となる大学の情報を提供するウェブサイトを開設し、十分な情報提供を行うことで、適切な時期に留学準備を開始できるようにする。また、学生のニーズに合った留学先の開拓を進めているほか、学内での留学説明会を継続的に開催している。

### ② 留学生の受入を促進するための環境整備

京都大学側の各専攻に関する情報を提供するウェブサイトを開設し、関係大学に対し、プログラムの内容、シラバス、単位の認定方法などの十分な情報提供を行う。このほか、留学生に対する相談体制や宿舎への入居を支援する体制など、既に整備されている仕組みを活用する。

## ■ 教育内容の可視化・成果の普及

### ① 情報提供サイトの開設

本構想の全容が分かるウェブサイトを開設し、教育内容、アカデミックカレンダー、学生募集など各種の関連情報を広く提供する。また、その情報に準じたパンフレットを作成し、広く頒布することで、成果を広く普及させる。

URL:<http://www.hsd.cpier.kyoto-u.ac.jp/ja/index.html>